

平成23年度「地域“魅力”アップ部門」選考会の様子

■日時 平成23年6月12日(日)10時00分～15時30分
■会場 名古屋都市センター・ホール(金山南ビル11階)

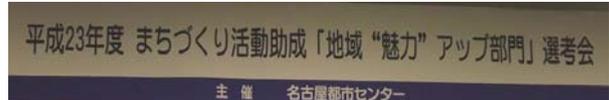
地域“魅力”アップ
部門



50万円以内

9:30 受付開始

今年は、14団体からの申請がありました。応募団体の皆さんには9時40分に集合していただきました。事務局からプレゼンテーションの進め方の説明があり、各団体ともスタンバイOKです。今回が初めてのプレゼンという団体もあり、少し緊張気味でした。出席者52名の参加がありました。



受付



プレゼンテーションの説明

10:00 開会

名古屋都市センターまちづくり相談幹の司会で、選考会が開会しました。はじめに、名古屋都市センター事業部長からあいさつがありました。



名古屋都市センター事業部長あいさつ

名古屋都市センターまちづくり相談幹



本日は、「地域“魅力”アップ部門」の応募のありました14団体につきまして公開審査による選考を行います。また、「“はじめの一步”部門」の応募のありました9団体につきまして、事前に書類での審査をおこないました結果を公表します。選考会を盛り上げていただきたいと、お願いをしまして私の挨拶とさせていただきます。

まちづくり基金運用委員会の委員(7名)を紹介

選考会に当たっては、事前に申請書を熟読の上、臨みました。

10:05 応募団体による発表・質疑応答

各団体5分の持ち時間で、申請書の提案内容について、発表していただいた後、まちづくり基金運用委員との質疑応答を行いました。

タイムキーパーは、発表に際しては時間表示をして、公平な発表を心がけました。

来場者にも提案内容をできるかぎり公表し、会場で資料を配布しました。

【会場で配布した資料】

- 当日のプログラム、選考方法説明資料
- 各団体からの提案内容(申請者名、住所、事業費等除く)

※会場では、チラシ等の配布は禁止です。



プレゼンテーションする申請者

タイムキーパー



プレゼンを受けて、質疑をする基金運用委員

12:15 「はじめの一步」部門採用団体の発表

事務局が「選考会の進め方」に沿って説明した後、まちづくり基金運用委員会の福島委員長より、事前に書類選考で助成を決定した「はじめの一步」部門採用団体（6団体）の発表を行いました。



平成23年度まちづくり活動助成「はじめの一步」部門採用団体一覧

1	人クラブ新千鳥会
2	Child (ちやると)
3	長谷町アートアニュアル実行委員会
4	NPO発掘「美術を楽しもう」
5	みやぎ防災ボランティアネットワークせき
6	みどりまちづくりフォーラム実行委員会
7	大歴史の会
8	NPO・ふれ愛・音楽工房
9	RYS(フライス)

「はじめの一步」部門 採用団体一覧



採用された団体の皆様、おめでとうございます。この助成金を活用し、皆さんの活動を“一步”前進させてください。

12:30 休憩、委員による1次投票

書類と当日の発表から1次投票を行いました。



投票結果を集計する事務局

13:40 1次投票の結果公表、質疑

休憩終了後、1次投票結果（1次通過団体）を公表！
最終投票に向けて、基金運用委員から次から次へと再質問が出されます。
ここが正念場なので、応募団体の皆さんも熱い思いを語ります。



公開質疑の様子

14:30 休憩、各委員による投票

再質疑を終えると、いよいよ皆さんの前で投票です。

各委員には、各団体の提案を、「選考にあたって重視する点」①～⑤の5項目すべてについて「2点」「1点」「0点」の3段階で評価をしていただきました。

<選考にあたって重視する点は以下のとおり>

.....提案内容の妥当性.....

①必要性

- ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か
- ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か
- ・地域との連携や協力が得られる活動か
- ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感が得られる活動か

②独創性

- ・創意工夫にあふれた活動か
- ・それぞれの地域性にあわせた個性豊かな活動か
- ・新しい視点やアイデアはあるか

③実現性

- ・提案内容が具体的になっているか
- ・予算は妥当か

④発展性

- ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか
- ・助成後に地域まちづくり活動への波及効果があるか

.....提案団体の能力.....

⑤活動実績と主体性

- ・提案内容につながる活動実績を有しているか
- ・具体的にどんな熱意を注いでいるか

集計は、「選考にあたって重視する点」5項目の評価を点数化（2点、1点、0点）して委員の平均点を算出しました。

例えば、以下の〇〇〇団体の例では、委員7人の平均点は、8.0点となります。

<〇〇〇団体の計算例>

- | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| ①必要性 | 「2点」4票 | 「1点」2票 | 「0点」1票 |
| ②独創性 | 「2点」5票 | 「1点」1票 | 「0点」1票 |
| ③実現性 | 「2点」6票 | 「1点」1票 | 「0点」0票 |
| ④発展性 | 「2点」4票 | 「1点」3票 | 「0点」0票 |
| ⑤活動実績と主体性 | 「2点」5票 | 「1点」1票 | 「0点」1票 |
- (「2点」×24票 + 「1点」×8票 + 「0点」×3票) ÷ 7人 = 8.0点



15:10 投票の結果公表、採用団体の発表

副委員長が助成団体を発表！

原則、各委員採点の平均点が8.0点（満10点の8割獲得）以上の団体を採用すると選考方法で発表していましたが、採点の結果今年度は8点以上を獲得した団体は2団体のみでした。そこで、予算の範囲内で、上位7団体を採用しました。

最後に、委員長から講評がありました。



団体名	委員の平均点 (10点満点)	選考に当たって審査する採点項目					活動実績 主体性	申請額 助成額	採用団体の 助成額
		必要性	独創性	実現性	発展性	活動実績と主体性			
エコムボランテ・アヴェッセ	6.84	1023	2061	1603	4006	1610	472,000		
ほたる「みどりの創造」	7.47	1915	1520	4304	3024	430	200,000	270,000	
ほたる「ほたるのまちの父の会」	7.86	2131	1700	4305	2006	1520	500,000	330,000	
ほたる小中連携研究会	6.43	1319	2411	1512	2501	1517	440,000		
中部ヘンクラブ							500,000		
ほたる「ほたるのまちの父の会」	7.86	2211	2700	1516	1024	1610	160,000	160,000	
ほたる「ほたるのまちの父の会」	8.00	2140	1700	2502	2503	3407	500,000	270,000	
ほたる「ほたるのまちの父の会」							500,000		
ほたる「ほたるのまちの父の会」	8.00	2310	2700	3316	1011	1610	500,000	330,000	
ほたる「ほたるのまちの父の会」	7.47	2013	2610	2411	1520	2415	500,000	330,000	
ほたる「ほたるのまちの父の会」							140,000		
ほたる「ほたるのまちの父の会」	6.86	1714	4331	4213	3312	2415	500,000		
ほたる「ほたるのまちの父の会」	7.43	1718	2502	2034	2020	1520	500,000	270,000	
ほたる「ほたるのまちの父の会」	7.39	1717	1520	3401	1602	2416	500,000		

採択団体へは花がつけられ祝福されました



講評する福島委員長

【選考会の講評】

本日、発表をして頂いた団体の方は、それぞれの分野で活動力を持った団体であり、提案された活動は、非常に意義のある活動だと認識しております。活動のテーマは多種多様であり、コミュニティの活性化、高齢化社会への対応や孤独死、無縁社会への対応、子育て支援、社会的弱者といわれる方々や障がい者への支援、歴史文化を活かしたまちづくりといった提案がありました。

今年度の地域“魅力”アップ部門は、すでに「はじめの一步」で6団体が採択されていますので、総額が300万円から6団体分の30万円を差し引いた270万円が予算となっています。残念ながら限られた予算の範囲内で助成を採用しなくてはなりません。委員会は、募集要項にも記載されている様に、皆様のご提案を「必要性」・「独創性」・「実現性」・「発展性」・「活動実績と主体性」の5つの項目から評価いたしました。これらの総合評価から高得点順に順位付けし、予算の範囲で採択決定し、先ほど該当団体を発表させていただきました。

委員会として、皆さんのそれぞれの活動は意義のあると高く評価致しますし、皆様方のご努力に敬意を表します。そのことは必要性や活動実績と主体性において、大体、高い評価がされていることからわかります。皆様が提案した活動は、それぞれの活動領域で必要なアウトプットを生み出します。ただし、この名古屋都市センターの助成では、そのアウトプットが、まちづくりとしての発展性をもつこと、まちづくりへの波及効果があるかどうか評価されます。この点で、高評価を得た団体が多く採択されています。一方、独創性では、独創性を発揮しやすい領域としづらい領域がありますので、活動内容によっては、少し不利なところもあったかと思えます。活動をまちづくりに繋げていくとか、創意工夫があれば、独創性ということで高く評価しました。実現性の評価には複数の判断基準があります。提案された活動の実現可能性が重要な判断基準となりますが、それだけではありません。一例ですが、実現は可能だが、自立的に事業を展開する能力・資質を持っているところに助成するよりも、まだ自立できていないところを応援したいといった判断もありました。実現する能力がある判断されながらも、こうした理由から評価が下がり、結果的に不採用となった団体もあります。総じていえば、採択された提案は5つの項目で幅広く評価を集めたものですが、負採択となった提案もそれぞれに意義があり、提

案された活動自体の評価がかならずしも低いわけではないことをご理解いただければと思います。

これから採択された活動につきましては提案通りに活動が展開していくように期待していますし、残念ながら不採択になった団体につきましては、別途、応援のメッセージを書かせていただきますので、それを見ていただいて、住みやすいまちづくりに向けた活発な活動の展開を期待したいと思います。

15:30 閉会

会場でのアンケート結果では、ほとんどの方が「公開を続けて欲しい」と回答されました。選考会についての意見・感想では、

○初めての参加ですが、たいへん温かい審査会でした。自然と申請者どうしの応援し合う雰囲気生まれそう。質問自体が、きちんと団体、まちづくり観点での発表を考慮した内容で感心しました。

○内容の濃い発表を聞かせてもらいました。老人、子供、障がいのある人などを考えたものに感心しました。

○時間の制約があるので・・・と思いますが第一次の質問時間がもう少しあるとよいのではないのでしょうか。

などの意見が出されました。

来年度以降も、皆さんの意見をお聞ききして改良しながら、より良い選考会にしていきたいと考えています。